

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若いときからの認知症予防
事業主体 (連絡先)	松本市 (健康福祉部 健康づくり課 電話 0263-34-3217)
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,453,266 円 (うち支援金該当: 1,568,000 円)

事業内容

20代から50代の青年期、壮年期からの認知症予防を広く周知するために、まず、健康診断を受け、自分の体をみつめ、生活習慣を改めることで、生活習慣病を未然に防ぎ将来の認知症予防、介護予防につなげることを目的です。講演会、広報等で啓発活動をし、ポイント制を用いて意識付けをしました。新聞折り込みもしました。脳活ポイントプログラムでは、「運動」「食事」「仲間」「健康」の4つのキーワードのうち、「食事」をテーマに、協賛参加企業とイベントを開催しました。協賛企業、応募者とも増加しました。



【講演会 食フェスタ】

事業効果

- 脳活ポイントプログラム参加者の増加  
目標 10000 人 実績 5949 人 (H24 4722 人)
- 20歳代から50歳代の参加者数の増加  
目標 4,000 人 実績 2510 人
- 食事に関しては、関心が高く、認知症予防と、食べることをつなげて考える方が多く意見を寄せてくれました。

今後の取り組み

- 認知症予防の4つのキーワードのうち「運動」をテーマにして、他課とプロジェクトチームで推進する
- 増加する認知症について、より身近な地域、町会等で認知症予防を広く啓発する(講話、健康講座等)
- 脳活ポイントプログラムは、協賛企業、事業所をさらに増やし、民間との連携をはかり、応募者の増加をはかる
- 本事業は、5年経過するため、見直しをし、より効果的な施策を検討する(名称変更等)

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

【目標・ねらい】

- 若い世代の市民に認知症予防を周知する
- 民間と協働で事業展開する
- 生活改善に気づき、取り組む市民を増やす

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。  
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある